

～友愛～

富田中学校だより

学校教育目標

「確かに生きる」

令和 3年10月18日 No.14

□除草作業

8日(金)4限目に2年生、5限目に3年生、12日(火)6限目に1年生で運動場の除草作業を行いました。今年の夏休みは新型コロナウイルス感染が拡大し、例年実施していたPTA主催の除草活動ができませんでした。また、部活動も長期間できませんでしたので運動場はかなり雑草が延びていました。2・3年生が作業した8日は残暑が厳しく、体育祭の練習後ということもありましたが、生徒の皆さんが作業に一生懸命取り組んでくれている姿がたくさん見られました。また、休日には教頭先生やいつも校門で挨拶していただいている富山さんにもお世話になり、草を刈っていただきました。本当に皆さんありがとうございました。おかげで体育祭が気持ちよく実施できました。



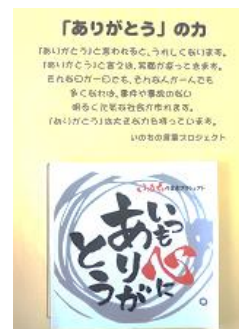
□「いのち大切さを学ぶ教室」講演会

すみみえこ 鷺見 美恵子さんをお招きして～

11日(月)5・6限目に「いのちの大切さを学ぶ教室」をオンラインで開催しました。講師の鷺見三重子さんは、1997年にご長男(拓也さん:当時高校2年生)を交通事故で亡くされた経験から、命の重さを伝える全国巡回展「生命(いのち)のメッセージ展」を三重県で開催されたり、事件や事故で家族を亡くした遺族らによる「いのちの言葉プロジェクト」を発足したりして、県内の中学生、高校生、大学生に対する「命の大切さを学ぶ教室」をはじめ、人形劇や講演会を行うなど、精力的に活動を続けられています。

今回は実際に、鷺見さんに富田中学校にお越しいただき、第1相談室でお話いただきました。残念ながら全校生徒が体育館に入り、鷺見さんの顔を見ながら直接お話を聴くことはできませんでしたが、Zoomの画面を通して鷺見さんの思いは生徒の皆さんにしっかり伝わったと思います。

講演の中では、拓也さんの事故当時のご自身やご家族の様子や思い、自身を奮い立たせることのきっかけになった出来事からその後の活動などをお話いただき、最後にご自身の経験から、「交通事故や犯罪の被害者にも加害者にもならない」ために「ルールを守ること」と「言葉を大切にすること」を伝えていただきました。聴いている生徒も含め、私自身も思わず涙が込み上げてくるお話もあり、とても心に響く講演会でした。生徒も皆さんも鷺見さんの思いを引き継ぎ、自分にできることを考え、実行してくれることだと思います。



□2年生 メディアリテラシー講座 ～「誰かを傷つけない」ためにできること～

13日(水)2年生でメディアリテラシーと人権について学ぶ出前授業を2限目～4限目にクラス毎に時間を分けて行いました。

講師は、津市にある反差別・人権研究所みえ(ヒューリアみえ)から安田賢行やすだ まさゆきさんにお越しいただきました。安田さんには生徒に語りかけるような口調で、大切なことを考えさせるよう丁寧に指導していただきました。

まずはSNSなどメディアの使用について、①その特性を知ること ②得た情報を自分でしっかり判断し評価すること ③自分の考えをもつこと ④正しく発信し、人や社会にかかわっていくこと が大切なのはなぜかを考えました。これらのことは、1人1台タブレットを活用していく皆さんにとって重要な内容です。

また、誤った情報による決めつけや偏見に気が付くのは、同じ属性を持つ人で、他の人は普段から自分が持っている偏見がベースになっており、自分のしていることが差別だと気付いていないことが多いこと。人権侵害や差別の問題は、する側の問題だから、人権の問題を正しく学ぶことが大切であることなどを教えていただきました。

そして、相談できる人がいるということは相談してくれる人がいる。それは、自分が尊重され、安心して過ごすことができる場所であること。では、安心できる場所は誰がつくるのか、メディアリテラシーを高めつつ、毎日の生活をふりかえってみよう、と話されました。2年生の生徒は真剣に話を聴き、自分を振り返りつつしっかりと考えていました。

【メディア・リテラシーと人権】とは？

インターネットや各種メディアから得られる様々な情報を正しく見分け、情報を主体的に読み解くメディア・リテラシーを身につけることで、インターネット上で発生するいじめや差別の被害者や加害者にならないようにすることが大切です。



□第1回学校保健委員会

14日(木)に第1回の学校保健委員会を開催しました。学校医の渡邊真也先生、学校歯科医の生川哲也先生、学校薬剤師の平岡伸五先生の学校三師の先生方と、保護者代表としてPTA役員の山田さん、渡辺さんにご出席いただきました。

学校保健委員会は、本年度の定期健康診断の結果や学校管理下でのケガや病気の状況、保健室の来室状況をはじめ、本校生徒の体力テストの結果や生活習慣アンケートの結果などをもとに、ご意見等をいただき、生徒の健康上の課題等に向き合い、更なる健康の保持増進・安全の確保に取り組んでいくために行います。また今回は、感染症対策についても専門的なご助言をいただきました。これらのご意見・ご助言は、今後、生徒の安心・安全な学校生活に役立てていきます。

